

## 抗ミュラー管ホルモン(AMH)検査で卵巣年齢を調べてみませんか？

「卵巣年齢」という言葉をお聞きになられたことはございますでしょうか？

女性の卵巣にある卵子(たまご)は生まれてから、特に初潮後には、どんどん減っていきます。

20歳の頃のだまごの数と比較しますと、

→ 25歳で約2分の1

→ 30歳で約3分の1 しか たまご は残っていません。

→ 40歳以上では10分の1以下と、ほとんど たまご は残らなくなります。たまごの「質」も悪くなります。

また、卵巣年齢と実年齢は必ずしも一致しません。

- ・ 喫煙される方、
- ・ 月経不順の方、
- ・ 卵巣の手術を受けたことのある方、
- ・ 卵巣の病気のある方、
- ・ 子宮内膜症のある方、
- ・ 不妊症の方、
- ・ 母親が早く閉経している方

などは、卵巣年齢が進んでいる、つまり、たまごが減っている可能性があります。

卵巣年齢は血液中の「抗ミュラー管ホルモン(AMH)」を測定して調べます。減ってしまったたり、消失してしまったたまごは、増えたり元にもどったりすることはありません。

AMH 値が低い、あるいは卵巣年齢が実年齢よりかなり(概ね5歳)進んでいると言われている方、不妊治療中の方は、治療やそのステップアップをお急ぎになることをお勧め致します。

津田沼 IVF クリニックでの抗ミュラー管ホルモンの検査料は 6,480 円(消費税込み)です。この検査だけをご希望の方は、他に初診料や再診料(いずれも自費)がかかります。